

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2018年11月6日発行NO.595

子ども達の豊か
な成長・力の
ため長・達を
合に皆で力を
合わせましよう！

「夢・はぐくむ」？ 公立こども園の大規模統廃園計画発表！

26こども園⇒17こども園に 2kmって徒歩圏ですか？

地区	校区	園名	配置園
A地区	第十一	---	---
	第八	東丘	東丘
	第九	西丘	西丘
		しんでん	
B地区		ゆたか	東豊中
	第十五	東豊中	東豊中
		てらうち	てらうち
	第十六	小曾根	てらうち
	第十七	旭丘	旭丘
	第三	---	---
	第四	服部	---

地区	校区	園名	配置園
C地区	第二	桜井谷	桜井谷
		本町	本町
	第十三	とねやま	とねやま
		北緑丘	北緑丘
D地区	第十四	のばたけ	北緑丘
	第十八	蛍池	蛍池
		原田	原田
	第一	てしま	てしま
	第五	豊中 人権 まちづくり センター	豊中 人権 まちづくり センター

地区	校区	園名	配置園
E地区	第六	---	---
		島田 栄町 庄内 せんなり	島田
F地区	第七	庄内西	庄内西
	第十	野田	野田
		高川	高川
	第十二	豊南西	高川

豊中市は「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画を発表しました。0〜5才人口が中長期的に減少傾向にあり、適正配置として「身近に立ち寄れる？」徒歩圏として1施設にするとしていきます。

平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度	平成35 (2023) 年度	平成36 (2024) 年度	平成37 (2025) 年度	平成38 (2026) 年度	平成39 (2027) 年度	平成40 (2028) 年度	平成41 (2029) 年度	平成42 (2030) 年度	平成43 (2031) 年度	平成44 (2032) 年度
第1期 (南部)														
第2期 (南部以外)														
17園の再整備														

計画では1.5km〜2kmを徒歩圏とするなど、兄弟姉妹でちがう園所に預けている子育て世代の悩みを踏みにじる計画です。

庄内地域は小中統廃合と同時に先行閉園計画。さらに庄内地域では現状です。に定員割れを起こしているとして、大幅な子ども園の閉園を小中【裏面最下行に続く】

同じ仕事をしているのに、「臨時教職員の待遇を求めます。」

「空白の一日」をなくし、(期限付講師) 待遇改善を!

臨時教職員の待遇改善を求め署名にご協力を!

学校現場には、常勤講師、非常勤講師などたくさんいるのに、臨時教職員(臨時教職員)が働いています。来年4月からの雇用も保障されず、毎年年度末は声がかかるまで不安な日々を過ごしています。

全教中は「均等待遇」「同一労働同一賃金」の立場に立った改善を求めます。

府下的な運動で社会保険への加入や通勤手当支給など改善されたものもあります。

しかし、年度末に任用されない日(空白の一日)が置かれていることで、待遇に大きな不利益がもたらされています。

他府県では「空白の一日」をなくし、改善が進んでいます。

■次年度の夏の一時金(ボーナス)が満額出ます!

ボーナスは6ヶ月の雇用があると満額支給されます。2年連続で期限付講師をする場合、現行では3月31日が「空白の一日」となり、6ヶ月の雇用に満たないため次年度の6月に支給される夏のボーナス(期末手当・勤勉手当)が切り下げられています。「空白の一日」がなくなると、6月のボーナスが満額支給となり、



約7万円UP
(大卒2年目)



約11万円UP
(上限に達している人)

ボーナスが大幅に増える!!

■年休が1日増えます!

常勤講師の年休は $20日 \times 任用日数 / 365日$ で計算されます。期限付講師の場合、現行では4月1日~3月30日の任用のため任用日数が364日となり、年休は19日になっています。任用が3月31日までになると任用日数が365日となり年休は20日になり、現行より1日増えます。

■共済組合に入れます!

共済組合の加入条件は1年以上となっており、3月31日まで任用があると、加入要件を満たすので、共済組合に入れます。

■3月31日も安心して仕事ができます!

期限付などの常勤講師も、仕事の内容や責任は正規教職員と同じです。会議や事務処理、引継ぎなど3月31日に勤務が必要とされる場合、現行では「空白の一日」があることで、任用されていない日に勤務を求められる異常な状況が生じています。(仕事をしても交通費も給与も出ません。)

「空白の一日」をなくして年度内すべての期間任用するのは当然のことです。



子どもを安心して預けられる子育て・保育施設の充実こそ市民は望んでいます。この豊中全市的な大幅な子ども園廃園計画は市民の願いに逆行したものでいかなければなりません。

庄内地域における小学校統廃合計画とともに、この子ども園廃園計画が進めば、子育て施設が身近になくなり、庄内地域で子育て世代が子育てしにくくなるのではないのでしょうか。

学校の統廃合と同時並行ですすめようとしています。

【表面一面の続き】